

キャリア教育通信

群馬県立館林特別支援学校
令和5年5月30日
第2号
進路指導部

○キャリア教育全体計画と日々の指導について①

このキャリア教育通信で伝えたいことである「キャリア教育が身近なもの」と感じられるように、これから日々の指導の中に取り入れられているキャリア教育的な視点について、紹介していきたいと思っています。

例えば…

「朝の活動で、事務室に牛乳パックを取りに行くこと」



キャリア教育で育成すべき力		日々の指導
かかわる力 (人間関係・社会形成能力)	【仕事】 生活科 役割・手伝い・仕事	・クラスの一員として、係の仕事を する。 ・事務室の職員とやりとりをする。
	【あいさつ】 国語 聞く・話す	・事務室に入るときに「失礼しま す。」、出るときに「ありがとうご ざいました。」と言う。
やりぬく力 (課題対応能力)	【物事を進める】 生活科 役割・手伝い・仕事	・着替え→牛乳パック集め→iPad という朝の活動の流れが分かる。 ・牛乳パックを入れる紙袋を見るこ とで事務室に行く。

○ちよこっとコラム 自立するとは…

自立と一言と言っても、いろいろな自立があります。

経済的自立、精神的自立、身辺自立などです。辞書で「自立」を調べると、

他の援助や支配を受けず、自分の力で判断したり身を立てたりすること。ひとりだち。

ただ、これだと本校の子どもたちにはすこし難しいかもしれません。平熱先生はこう言います。

今の自分が「できること」と「できないこと」を知ったうえで「できること」を増やし、「できないこと」を多くの人やものに助けをもらいながら生活する力。

と。

さらに続けます

「できないこと」を知り、それを伝え、助けをもらえる力だっておなじくらい大切です。

と。

できるが増えることも大切、それと同じくらいできないことを知り、助けをもらうことも大切。

これは②みつめる力(自己理解・自己管理能力)ともつながることだと思います。こんな話も聞いたこともあります、人に助けをもらって、また困ったときに、またその人に助けをもらおうと思うことを「信頼」と呼ぶと。子どもにとって、信頼できる大人になれるように、保護者のみなさんと協力していきたいと思っています。

(参考資料:平熱「発達が気になる子の育て方」かんき出版)

